

野村病院 勉強会

平成25年5月27日(月)
寺野友美

症例

【患者】 89歳 男性

【主訴】 倦怠感

【現病歴】

普段は歩行可能であるが、入院3日前から倦怠感があり歩行困難となっていた。

同日、デイサービスにて血圧の低下、顔色不良を指摘され受診した。

症例

【既往歴】

胃がん；胃全摘（63歳）

高血圧、骨粗鬆症

【内服薬】

（他院処方）

大建中湯、胃薬3種、下剤

症例

【来院時現症】

意識：清明

血圧：63/52mmHg 心拍：84/分

体温：37.2℃

SpO₂：76～86% (room air)

顔色不良、倦怠感強い

咳はないが、粘性痰あり。

左胸部で呼吸音が減弱。

頸部リンパ節触知せず。

口腔内にアフタあり。

咽頭観察：異常なし

症例

【来院時血液検査】

WBC : 38500
(好中球**90%**)
RBC : 424 × 10⁴
Hb : 10.8g/dl
MCV : 76fl
Plt : 37.2 × 10⁴
CRP : 39.6
BUN : 57mg/dl
Cre : 1.7mg/dl
Na : 138mEq/L
K : 4.5mEq/L
Cl : 99mEq/L
Fe : 8μg/dl
TIBC : 143μg/dl
フェリチン : 157ng/ml

【ABG】

pH:7.4
PCO₂:33mmHg
PO₂:66mmHg
HCO₃:24mmol/L
BE:0.9mmol/L
AnGAP:3.7mmol/L

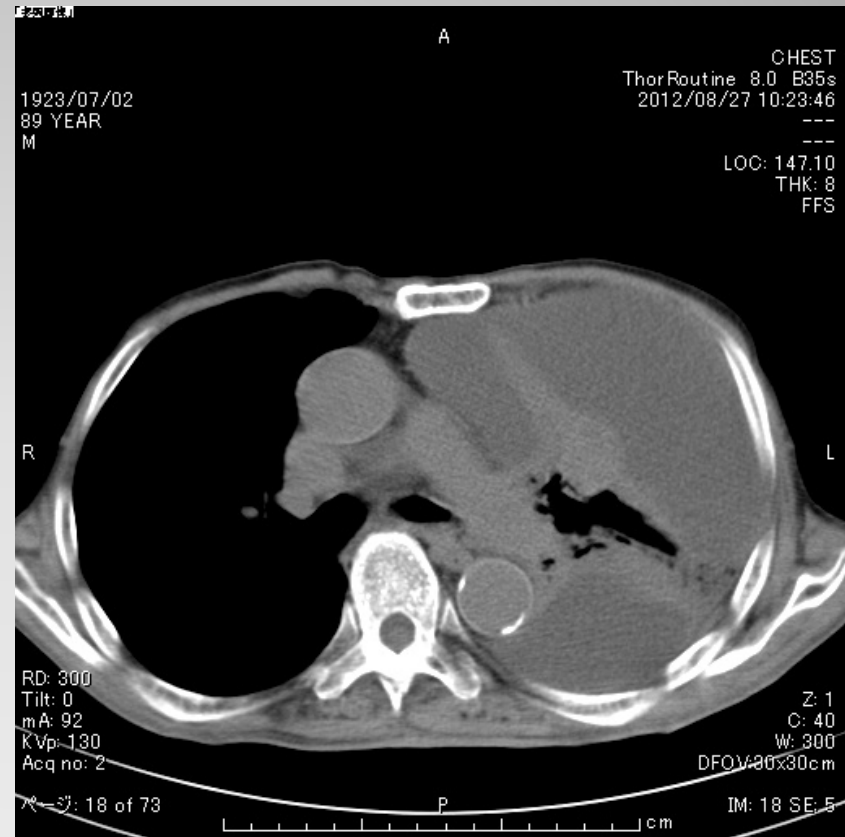
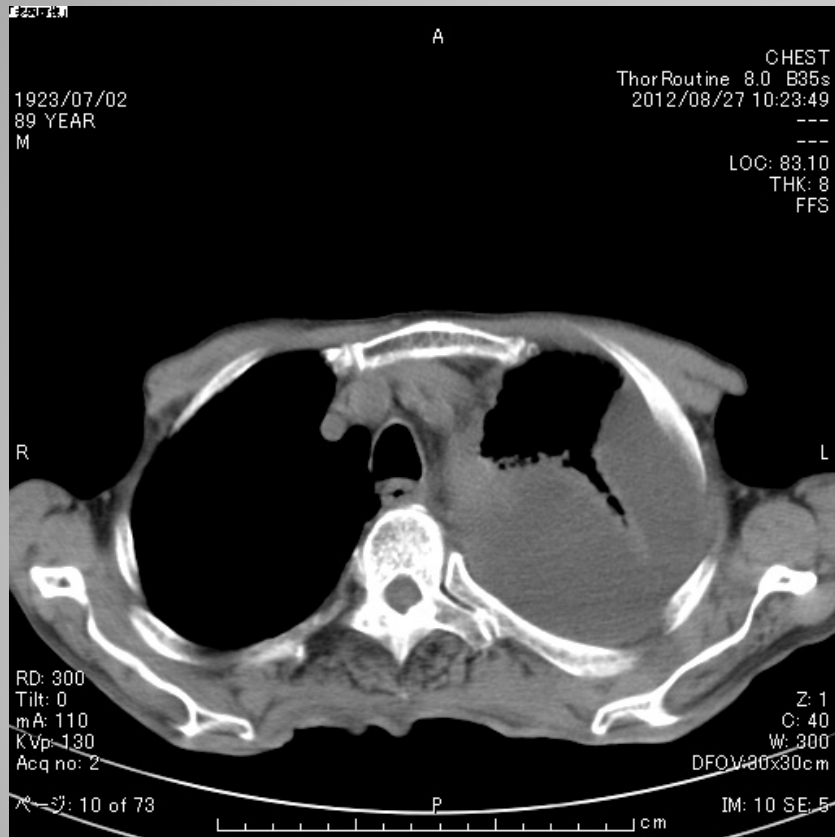
【尿】

RBC:1-4/HPF
WBC:10-19/HPF

症例



胸部CT



症例

【胸腔穿刺】

黄白色、混濁。異臭なし。

PH 7.0 比重 **1.032**

TP 4.7 **LDH 7045**

AMY 29 **GLU 0**

細胞数：**111,000/mm³**

(好中球**95%**、リンパ球**5%**)

ADA 109U/L

【穿刺液細胞診】

炎症性変化

胸水穿刺

【目的】

胸水の性状を鑑別する 滲出性or漏出性
ドレナージの要否を判断する

【Lightの基準】

胸水タンパク/血清タンパク > 0.5

胸水LDH/血清LDH > 0.6

胸水LDH/血清LDH正常上限値 $> 2/3$

どれか一項目を満たせば浸出性と診断
(感度 98%、特異度 83%)

ドレナージの要否

【適応】

・膿胸

・肺炎関連胸水)

Uncomplicated : 胸腔内に細菌 (-)

Complicated : **胸腔内に細菌 (+)**

Border line : 両者の中間。

24時間以内に再検。

鑑別はグラム染色、pH、**GLU**、**LDH**で行う。

症例：膿胸

【診断】膿胸

胸腔内に膿性の貯留液を有する病態。

【症状】呼吸困難、発熱、咳嗽、胸痛など

【原因】

肺炎/肺膿瘍の続発（82%ともいわれる）

咽頭炎：**denger space**、血栓性内頸静脈炎

術後感染 胸部外傷 食道裂孔

糖尿病、腎疾患、免疫不全などを合併することが多い。

症例：膿胸

【起因菌】

好気性菌：レンサ球菌、黄色ブドウ球菌

嫌気性菌：**Peptostreptococcus**、
Bacteroides

糖尿病や肝硬変患者：**K.pneumoniae**
膿胸の報告のうち口腔内常在菌は多い。

【治療】

抗生剤投与 + 胸腔ドレナージ

症例

【喀痰】

MSSA (S.aureus)

α-Streptococcus (口腔内常在菌)

【穿刺液】

α-Streptococcus

結核菌 (-)

【血液培養 (動脈血 2 セット) 】

特に細菌の検出は認めず。

症例：膿胸

【頭部CT】膿瘍を指摘できず

【頸部CT】リンパ節の主張や
咽頭膿瘍指摘できず

【腹部CT】膿瘍は指摘できず

症例

【経過】

高度医療機関に紹介、転院。

抗生剤**ABPC/SBT**投与、左胸腔ドレーン
2本留置、生食で持続洗浄。

排膿の減少、肺の拡張あり。

抗生剤を終了後も再発がないことを確認
され、当院に転院。

症例



症例

【経過】

転院後、肺炎、胸水の増加あり。
（穿刺不可）抗生剤に反応不良。

歯肉にアフタあり。
処置後に抗生剤に反応。

今回の症例では、縦隔炎はみとめていないことから、口腔内の潰瘍から血行性に細菌が胸腔に至ったと考えられる。

症例

【患者】 83歳 男性

【主訴】 咳嗽時の胸部圧迫感

【現病歴】

高血圧にて外来通院中。

入院1週間前から咳が出るため外来受診し、感冒薬を処方されていた。その後も胸部のしんどさが増悪してくるため、外来を再度受診。

症例

【既往歴】

右肩骨折 30年前

左白内障 2年前

虫垂炎ope 33歳

【内服薬】

降圧剤 2種

症例

【来院時現症】

血圧：**122/74mmHg** 心拍：**91/分**

体温：**36.4°C**

SpO2 : 93% (room air)

左胸部で呼吸音が減弱。

頸部リンパ節触知せず。

腹部症状なし。

外傷歴なし。

症例

【来院時血液検査】

WBC : 9100 (好中球67%)

RBC : 313 × 10⁴

Hb : 9.6g/dl

MCV : 94fl

Plt : 29 × 10⁴

CRP : 8.2mg/dl

AMY : 330IU/L

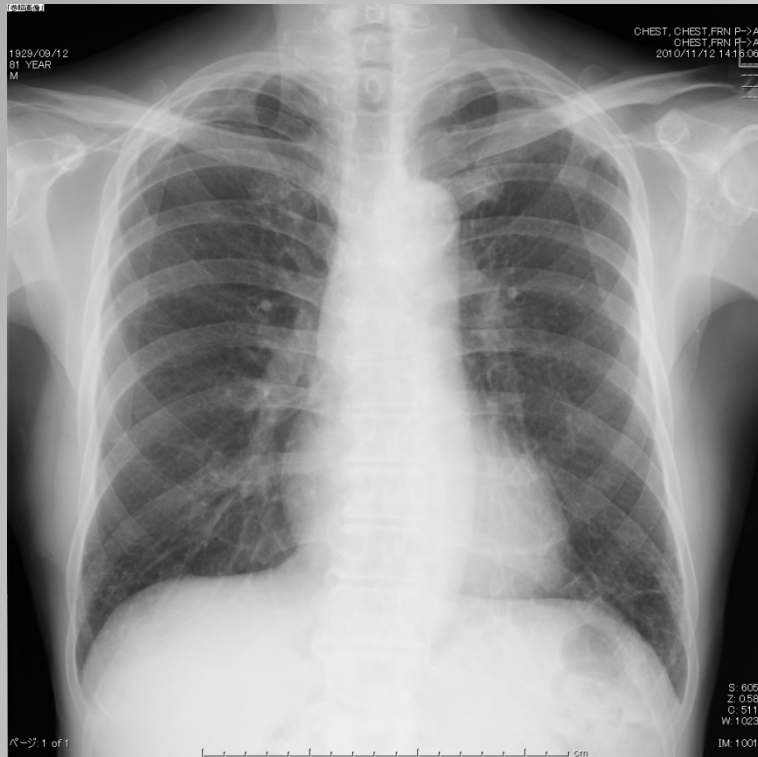
Na : 130mEq/L

K : 4.9mEq/L

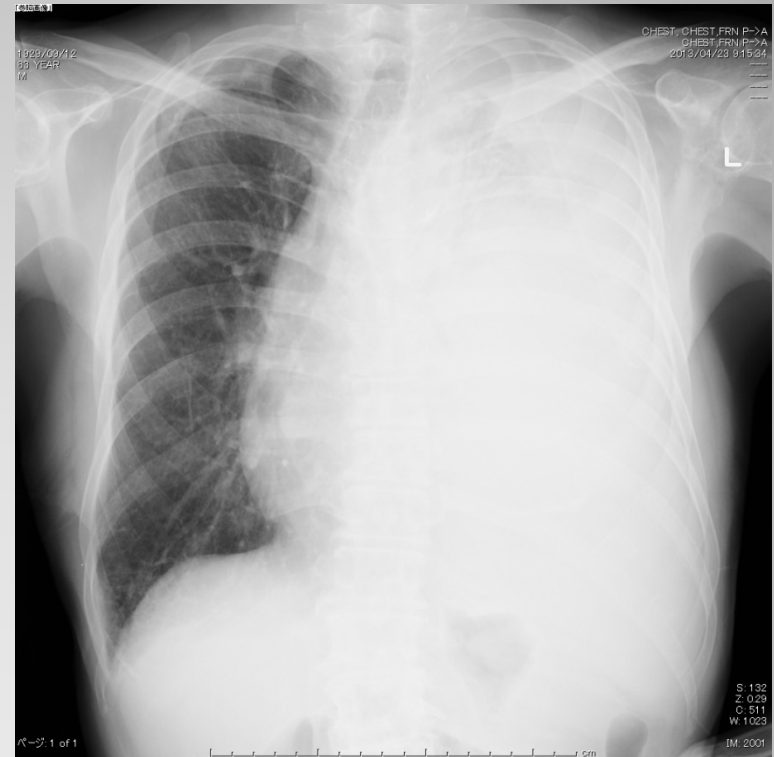
Cl : 95mEq/L

NT-pro-BNP : 319

症例

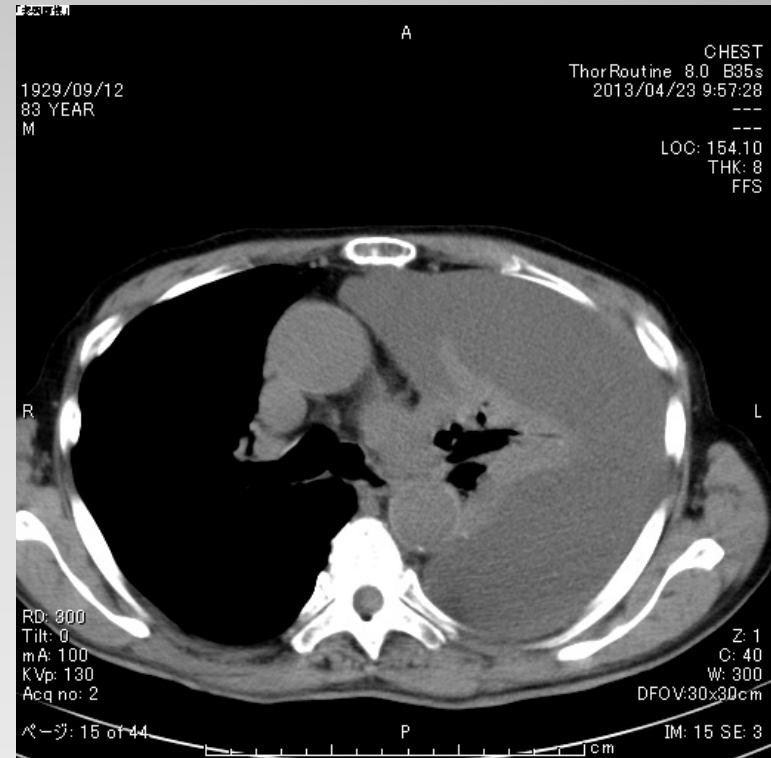


2年前



今回

症例



症例

胸水穿刺施行

→ **明らかな血性**

鑑別は？？？